

◆ 実際の使用例

実際に土浦市で EM ぼかし容器を使っている方へ、使い方について質問してみました。

質問内容

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ① 容器を置いている場所 | ⑥ できた堆肥の量 |
| ② 生ごみを入れる頻度 | ⑦ 液肥を取り出す頻度と量 |
| ③ 入れている生ごみの種類と量 | ⑧ 堆肥を作る時、気をつけていること |
| ④ EM ぼかしの入れ方 | ⑨ 容器を使ってからの家庭ごみの量 |
| ⑤ 容器がいっぱいになるまでの期間 | ⑩ 使用した感想 |

60代男性 4人家族 戸建住宅 の方の場合

- ① 廊下の掃き出しの所
- ② 毎日出た分をまとめて入れる
- ③ 主に野菜くず 1日300g程度
- ④ 生ごみを入れる度 EMぼかし20g程度
- ⑤ 30日(1ヶ月)
- ⑥ 3.3㎡分に入る量 約1ヶ月で完成
- ⑦ 2週間に1回500～600ml
- ⑧ 水切り容器で丸1日水分を切る
魚・肉類は入れないようにする
- ⑨ ごみは大きく減った
- ⑩ 堆肥と液肥は庭や市民農園で使用。作物の葉が大きく茂るようになったと感じている。野菜も甘く柔らかいものであった。

60代男性 2人家族 戸建住宅 の方の場合

- ① 台所
- ② 毎日出た分をまとめて入れる
- ③ 野菜くず・残飯を1日200g程度
- ④ 生ごみを入れる度 EMぼかしは50g程度
- ⑤ 50日程度
- ⑥ 4kgほどの約10日で完成
- ⑦ 毎日
- ⑧ 魚介類は入れない
- ⑨ ごみは少し減った
- ⑩ 堆肥は追肥として埋めており、作物の成長も良好である。液肥を使った清掃もそれなりの効果を感じている。

◆ EMぼかしの取扱店 (平成25年12月現在)

クルトロード	飯田2645-2	825-7171
福祉の店 ポブラ	大和町9-2 (ウララ2ビル 4階)	827-1123
福祉の店 ポブラ 中央店	中央一丁目12-25	090-4700-7141
(有)若山金物店	生田町8-13	821-0272
ジョイフル山新 土浦店	東真鍋町3-4	823-4701
雨貝商店	荒川沖東2-3-15	841-0884
ジョイフル本田 荒川沖店	北荒川沖町1-30	841-2211
農家の店 しんしん 神立店	神立町3607	831-9383
にいはり園	小高572-1	862-5116
エポックかすみがうら	かすみがうら市下軽部305	896-1311
視覚障害者更生施設 光風荘	石岡市谷向町13-23	0299-22-5811
(有)あびこイーエム・ショップ	千葉県我孫子市緑2-11-33	04-7183-7747

★ ごみの減量とリサイクル推進へ、これからもご協力をよろしくお願いします。

発行：土浦市市民生活部環境衛生課 クリーン推進係 TEL029-826-1111 (内線2474)
監修：かすみがうら市よもぎ会代表 飯塚 敏夫 TEL029-896-1311
(EMぼかし・容器に関するご相談は上記の問い合わせ先までご連絡ください)



EMぼかし容器

EM ぼかし容器は、EM ぼかしを資材に使用して生ごみを発酵させ、堆肥を作るための容器です。EM とは、「有用微生物群」の英文字名「Effective Microorganisms」の頭文字を取った略称であり、資材である EM ぼかしは、この EM を米ぬか・もみ殻・糖蜜等と混ぜて発酵させたものを言います。

この EM ぼかし容器を使った生ごみの堆肥化が、家庭から排出される生ごみの減量とリサイクル推進のための方法のひとつとしてあげられています。

◆ 基本的な使い方



1 準備

はじめに、容器のコックをしっかりと締め、中敷きの上に新聞紙を敷いて EM ぼかしをひと握り分まけば準備ができます。



2 生ごみの投入

あらかじめ水分をよく切り、細かくしておいた新鮮な状態の生ごみを容器の中へ入れます。



3 EMぼかしの投入

投入した生ごみの上へ、ひと握りほどの EM ぼかしをふりかけます。その後、しっかりとフタを閉めて密閉します。



4 寝かせて完成

2～3の行程を繰り返す、容器が9分目になった頃、しっかりとフタをしたまま1ヶ月程度寝かせれば完成です。

◆ 堆肥を作るコツ



野菜は細かくする

EM で生ごみ堆肥を作るためには発酵させることが必要です。発酵を早く進め、使いやすい堆肥を作るためにも、容器に入れる野菜などの生ごみは、なるべく細かくすることが大切です。



水分をしっかりと切る

水分が多いと生ごみは発酵しづらくなります。そのため、生ごみを容器へ入れる前には、水分をよく切ることが必要です。ぎゅっとひと絞りするだけで約10%の水分を切ることができます。



新鮮なうちに投入

時間が経ってしまった生ごみは、腐敗したり、虫に卵を産み付けられたりする恐れがあります。これらを防ぐためにも、生ごみはその日のうちに、新鮮な状態で容器に入れるようにします。



空気に触れさせない

EM は嫌気性の発酵をするため、空気に触れている状態は発酵に適しません。新聞紙やビニールで中フタをすると、空気と触れる面がなくなり、発酵をより進めさせることができます。

◆ 堆肥の活用方法



堆肥はどのようなもの？

うまくいくとこのような堆肥が完成します。EM による堆肥は、生ごみが発酵してできたものであり、次のような特徴があります。

- ・形：生ごみの形がそのまま残っている。
- ・臭い：漬物のような臭いがする。
- ・ほか：白カビが生えることがある。

活用方法

堆肥は土と混ぜて2～3週間熟成させる

完成した堆肥は、土とよく混ぜ、植物の根に直接触れないようにして埋めた後、上から土をかぶせて2～3週間程度熟成させることで活用できます。

なお、堆肥を混ぜた所に植物を植えるのは熟成させてからにします。状況に応じて次のように熟成させて下さい。

- ◆ 畑の場合 うねとうねの間に堆肥を埋めていきます。
- ◆ 庭の場合 植物から50cm ほど離れた所へ穴を掘って堆肥を埋めます。
- ◆ フランターの場合
はじめに土を入れ、次に土とよく混ぜた EM 生ごみ堆肥を加えた後、最後に土を被せます。その後、1～2 週間程ビニールで覆います。

ポイント

- ・穴の深さは20～30cm
- ・被せる土は5～6cm 程度
- ・根に触れないように埋める

◆ 液肥の活用方法



液肥はどのようなもの？

液肥は透き通った茶色をしており、甘酸っぱいような臭いがあります。

これは堆肥を作っているうちに自然と容器の底に溜まっていくので、その都度、容器の下部にあるコックから抜いていきます。

投入した生ごみの状態によっては、液肥がほとんど出ないこともありますが堆肥には問題はありません。

活用方法

液肥は薄めて肥料 & 排水口の汚れ取りに使う

取り出した液肥は次のように活用できます。なお、取り出した液肥はそのままにしておくと腐敗するので、その日のうちに使用しなくてはけません。

- ◆ 薄めて肥料として活用
液肥は酸性が強いので 500～1000 倍に薄めてから、肥料として草木等に散布することができます。葉に直接かかっても大丈夫です。
- ◆ 排水口の汚れ取りへの活用
酸性が強いということもあり、原液のまま排水口へ流すことで汚れやぬめりを取る効果があります。

※液肥を取り出す際の注意
コックは、中のパッキンが壊れやすいので、無理に力を加えないようにする。

◆ お悩み解決策

容器を使っていてこんなお悩みはありませんか。

臭いをどうにかしたい



腐敗をさせない！

生ごみが容器の中で腐敗すると強い臭いが発生してしまいます。腐敗を防ぐため、水分を十分に切って、新鮮なうちに容器へ入れること、液肥は1日1回程度抜くことが大切です。



臭いの元を入れない！

肉や魚、ネギ類、にんにく等の生ごみは、発酵しても強い臭いの原因となります。気になる場合は、これらを入れることを控えるか、EM ぼかしを多く使って処理を行います。

- ◆ 消臭効果があるとされるもの ◆
みかんの皮、コーヒークず等

入れてはいけないものを知りたい

○ 入れて良いもの！

- ・残飯、卵の殻、小さい骨
- ・シジミやアサリ、カニの殻
- ・茶がらなど

野菜等の生ごみの他、左に載せたものも入れて大丈夫です。

✕ 入れてはいけないもの！

- ・薬品類、たばこ、糞など
- ・飲物、液体物、廃油など
- ・大きな骨、大きな貝
- ・プラスチック、金属類など

EM に害のあるもの分解できないものは入れることができません。

できた堆肥を活用したい



市民農園を活用！

市内に5カ所ある市民農園で家庭菜園をしてみませんか。例えば、中村西根農園では、EM の堆肥を使って完全有機栽培を行っています。

虫の発生を防ぎたい



虫に卵を産ませない！

生ごみを放っておくと、虫が卵を産み付けます。そうすると、発酵が十分でない場合、後に虫が発生する原因となります。そのため、生ごみは新鮮なうちに容器へ入れる必要があります。生ごみを入れたらすぐにフタを閉め、虫が入らないよう密閉することも大切です。

また、畑や庭に虫を発生させないためには、堆肥を土と混ぜる際に、十分な深さに埋めて、最後はきちんと土で覆う必要があります。

堆肥作りに失敗してしまった

腐敗臭がひどい。青カビや黒カビが発生する。

このような場合、残念ながら発酵に失敗しており、堆肥はできません。勿体ないですが、失敗してしまった中身は次のようにして処理をします。



中身は埋めてしまう！

中身は作物に影響のない所に土と混ぜて深く埋めます。虫が発生している場合は、埋める時に熱湯をかけて処理します。2～3 週間程度で分解が始まるので、植物を植えることもできます。

容器をきれいに使いたい

お湯か水で洗えば大丈夫！

特に、汚れが気になってきた時、堆肥作りに失敗してしまった時はしっかりと水洗いをしましょう。市販されている EM の原液を混ぜて洗うとより良い環境を整えることができます。

容器は太陽光に当てると劣化してしまうので、洗った後は日の当たらない所で乾かしてください。